

● 貴族・僧侶・武家の文庫時代から市民図書館の時代まで ●

# 日本図書館史概説 新版

(図書館サポートフォーラムシリーズ)

岩猿 敏生 著

四六判・330頁 定価2,970円(本体2,700円+税10%) ISBN978-4-8169-2973-1 2023年7月刊行

## 日本の図書館文化の変遷を 歴史的視点で詳述する名著 16年ぶりの新装再版

- 書籍文化の伝来から、貴族・僧侶・武家などが「文庫」を設立した古代・中世・近世を経て、市民に公開される「図書館」が誕生した明治・大正・昭和戦前期まで、図書館文化の変遷を時代背景とともに詳説する概説書です。『日本図書館史概説』(2007.1刊)の新装再版。
- 文化の担い手を象徴する独自の時代区分のもと、「文庫」「図書館」の歴史を詳述。さらに古書籍についての書誌学的記述や貸本・出版業など広い意味での図書文化まで解説しています。
- 図書館文化や図書館学の研究に必読の一冊。
- 「人名索引」付き。

### ■ 著者プロフィール ■

岩猿 敏生 いわさる・としお 1919-2016

1919年福岡県生まれ。1943年京都帝国大学文学部卒業。1950年九州大学図書館司書官、1956年京都大学図書館事務長・事務部長を経て、1976年関西大学文学部教授(～1990年)。1995年日本図書館協会顧問(～2013年)。2016年逝去。

著書に「日本文庫めぐり―蔵書の命運―」(共著、出版ニュース社)、「大学図書館」(雄山閣)、「図書館概論」(共著、雄山閣)、「大学図書館の管理と運営」(共著、日本図書館協会)などのほか、論文多数。

### 【目次】

序
1 序論
1-1 日本図書館史の時代区分
1-2 わが国における図書文化の成立
2 貴族文庫時代(飛鳥、奈良、平安時代)
2-1 飛鳥時代
2-2 奈良時代
2-3 平安時代
3 僧侶文庫時代(I)(鎌倉時代)
3-1 鎌倉時代と新仏教
3-2 鎌倉時代の印刷文化
3-3 寺院文庫
3-4 宮廷、貴族階級の文庫
3-5 武士階級の文庫
3-6 『本朝書籍目録』
4 僧侶文庫時代(II)(南北朝、室町時代)
4-1 五山版と五山文化
4-2 五山版と包背装
4-3 寺院文庫
4-4 宮廷、貴族の文庫
4-5 武家文庫と武士の開版活動
4-6 図書文化の一般庶民への普及
5 武家文庫時代(安土、桃山、江戸時代)
5-1 古活字版時代
5-2 徳川家康の開版事業
5-3 昌平坂学問所の文庫と官版
5-4 諸大名の文庫と藩校文庫
5-5 神社文庫
5-6 出版活動の発展と貸本屋
5-7 江戸幕府の出版物取締と本屋仲間
5-8 個人文庫と公開図書館への動き
6 市民図書館時代 (明治、大正、昭和から第二次世界大戦敗戦まで)
6-1 市民図書館時代の時代区分
6-2 書籍館時代
6-3 図書館令時代
6-4 改正図書館令時代(一九三三―一九四五年)
あとがき
人名索引

2023.06

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

注  
文  
書

## 日本図書館史概説 新版 (図書館サポートフォーラムシリーズ)

定価2,970円(本体2,700円+税10%)

ISBN978-4-8169-2973-1

冊

取扱書店



9784816929731